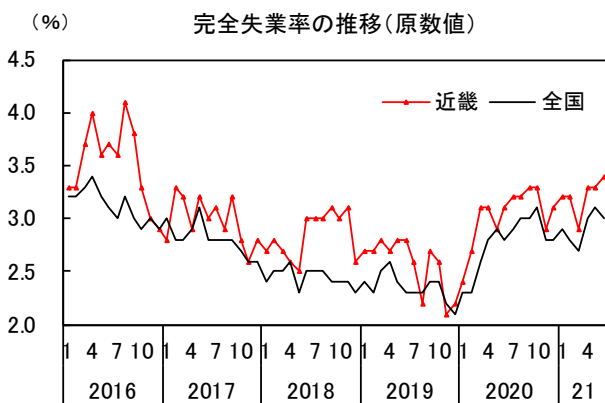
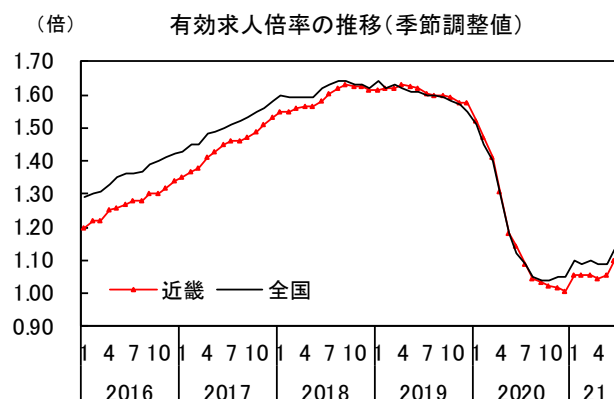


## 関西の景気ピックス【雇用関連（21年6月）】

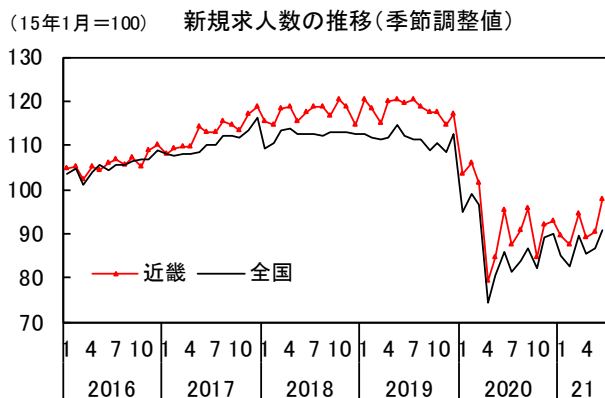
- 21年6月の労働力調査（総務省）によると、近畿の完全失業率は3.4%（原数値）と、前年比で0.3ポイントの上昇となった。前年を上回るのは3か月連続。変化の内訳は、就業者数が前年比で12万人の増加となったほか、失業者も4万人の増加、非労働力人口は19万人の減少となった。就業者の増加は4か月連続で、失業者の増加は3か月連続。
- 一方、近畿の有効求人倍率（厚生労働省）は、21年6月は1.10倍（季節調整値）と前月比で0.05ポイント上昇した。
- 有効求人倍率や新規求人数は底を打った感があるものの、失業率は前年比で上昇が続くなど、まだまだ楽観視は許されない。賃金の動向も、直近は前年比でプラスが続いているが、前年の反動による部分が多い。2年前比ではマイナスとなるなど、本格回復には時間がかかるとみられる。



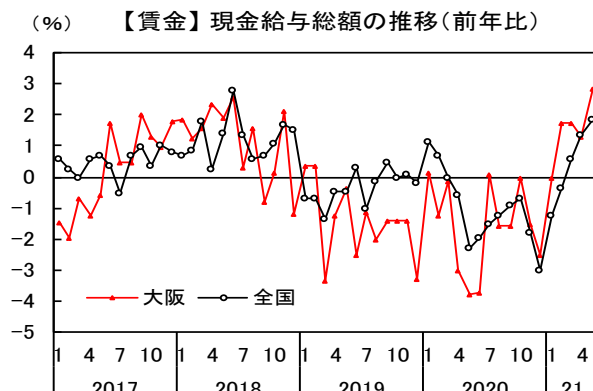
(出所)総務省「労働力調査」



(出所)厚生労働省「職業安定業務統計」



(出所)厚生労働省「職業安定業務統計」



(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」